

剣道称号「錬士」審査会要項

熊本県剣道連盟

1. 申込対象者

- (1) 剣道六段受有者で、受有後1年以上を経過（平成23年11月30日以前に取得）した者。
- (2) 剣道五段受有者で、受有後10年以上を経過（平成14年11月30日以前に取得）し、かつ、年齢60歳以上の者（称号・段位審査規則第9条2項による特例）。
- (3) 熊本県剣道連盟の会員登録を済ませている者。
- (4) 熊本県剣道連盟主催の剣道講習会を1年以内に2回以上受講した者。

2. 申込方法

受審希望者は、称号審査申請書と所定の錬士受審申請書に小論文（いずれも手書きによる自筆、パソコン不可）を添え、加盟団体事務局を通して申込みこと。

3. 小論文の内容

- (1) 課題 平成19年3月14日制定の「剣道指導の心構え」の要点を記し、それをふまえたうえでのあなたの剣道修業について述べなさい。
- (2) 字数 400字以上800字以内
- (3) 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）。用紙1～4行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、5行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。2枚の原稿用紙は右上ホッチキスで止めること。（凡例参照）
- (4) 提出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「剣道錬士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記のうえ封印すること。

4. 申込締切

熊本県剣道連盟 平成24年8月31日（金）

5. 県剣連の推薦

- (1) 本連盟称号・段位審査規程に基づいて、全剣連会長に候補者として推薦する。
- (2) 県剣連会長は、申込者が規則第8条第1項の付与基準に該当し、かつ、実施要領の「錬士を受審しようとする者の備えるべき要件」（①～③）を満たしていると認めた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。

6. 審査の方法

(1) 小論文の審査

課題に対して適切な内容でまとめられているか、剣道に対する受け止め方と文章の表現能力等について審査を行う。

(2) 審査会による審査

小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

7. 審査会期日 平成24年11月26日(月)

8. 審査料 22,000円

9. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書が県剣道連盟に送付されるほか、後日、全剣連月刊「剣窓」平成25年1月号および全剣連ホームページ(<http://www.kendo.or.jp/>)に合格者の氏名が掲載される。

10. 個人情報保護法への対応

申込書に記載される個人情報(登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等)は全日本剣道連盟および当連盟が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣窓等)に公表されることがある。更に、剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

11. その他

錬士号受審者は審議委員会に諮った後、全剣連へ推薦する。締切期日厳守のこと。

受審者は、平成24年度の会員登録を済ませること。

なお、合格されたら登録料は下記のとおりです。

※錬士号登録料 69歳以下60,000円/70歳以上30,000円